

空知管内 長沼町立長沼小学校

1 学習活動の概要

ふるさとへの愛着と誇りを育むとともに、アイヌの人たちの歴史・文化等を尊重する態度を育むため、「ウポポイ」の職員へのインタビューや、「アイヌ古式舞踊」やムックリの演奏の見学などを指導計画に位置付け、民族共生について考える探究的な学習活動を展開しました。

2 取組の様子

(1) 課題の設定

アイヌの人たちの歴史や文化等について、学校にある書籍やインターネットで調べ学習を行い、「衣、食、住、言葉、伝統芸能、交流・交易」の中からテーマを選択し、「アイヌ語のあいさつと意味について」など、児童一人一人が追究する課題を設定しました。

(2) 情報の収集

修学旅行において、「ウポポイ」の職員へのインタビューや、アイヌの人たちが使用していた道具などの展示物の見学を通して、アイヌの人たちの歴史・文化等について、情報を収集しました。

また、「アイヌ古式舞踊」やムックリの演奏の見学を通して、アイヌの人たちの文化について理解を深めました。

(3) 整理・分析

書籍やインターネット、「ウポポイ」で収集したアイヌの人たちの歴史・文化等についての情報を、自分たちの住む地域や生活と比較したり、関連付けたりして、整理・分析しました。

(4) まとめ・表現

児童一人一人がテーマに沿って調べた情報をまとめ、調べたことや感じたことを発表しました。発表を通して新たな課題を発見するなど、アイヌの人たちの歴史・文化等への関心や学習意欲が高まりました。

3 児童の感想等

- ・「ウポポイ」の職員の方に、これまでのアイヌの人たちの歴史を教えていただき、とても勉強になりました。
- ・一番驚いたのはトイチセです。トイチセの中に入ると半地下になっていてびっくりしました。家族と一緒に、もう一度「ウポポイ」に行ってみたいです。
- ・アイヌの人たちが昔使っていた道具や伝統舞踊を見て、知恵や工夫、自然に対する感謝の気持ちの表現方法を知ることができました。



【「ウポポイ」の職員へのインタビュー】



【児童が作成した発表資料】